

**製品名: CD125 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82206**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	47.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD125
別名	IL5RA; IL5R; CDw125; HSIL5R3
遺伝子 ID	3568.0
SwissProt ID	Q01344
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD125 (AA: 追加 21-196) の精製された組み換え断片。

**背景**

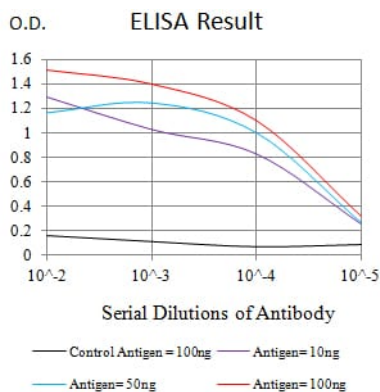
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヘテロ二量体サイトカイン受容体のインターロイキン 5 特異的サブユニットである。この受容体は、インターロイキン 3 (IL3)、コロニー刺激因子 2 (CSF2/GM-CSF)、およびインターロイキン 5 (IL5) の受容体

に共通する、リガンド特異的  $\alpha$  サブユニットとシグナル伝達  $\beta$  サブユニットから構成される。このタンパク質の IL5 への結合は  $\beta$  サブユニットに依存する。 $\beta$  サブユニットはリガンド結合によって活性化され、IL5 の生物学的活性に必須である。このタンパク質は、IL5 を介した転写因子 SOX4 の活性化に必要なシンデカン結合タンパク質 (シンテニン) と相互作用することが判明している。4 つの異なるアイソフォームをコードする、複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。

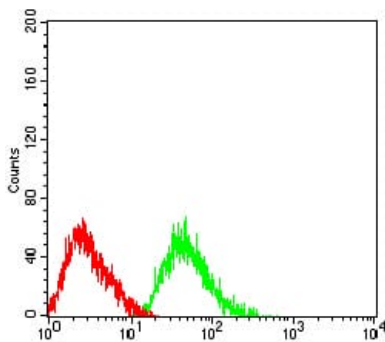
## 研究分野

-

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD125 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。